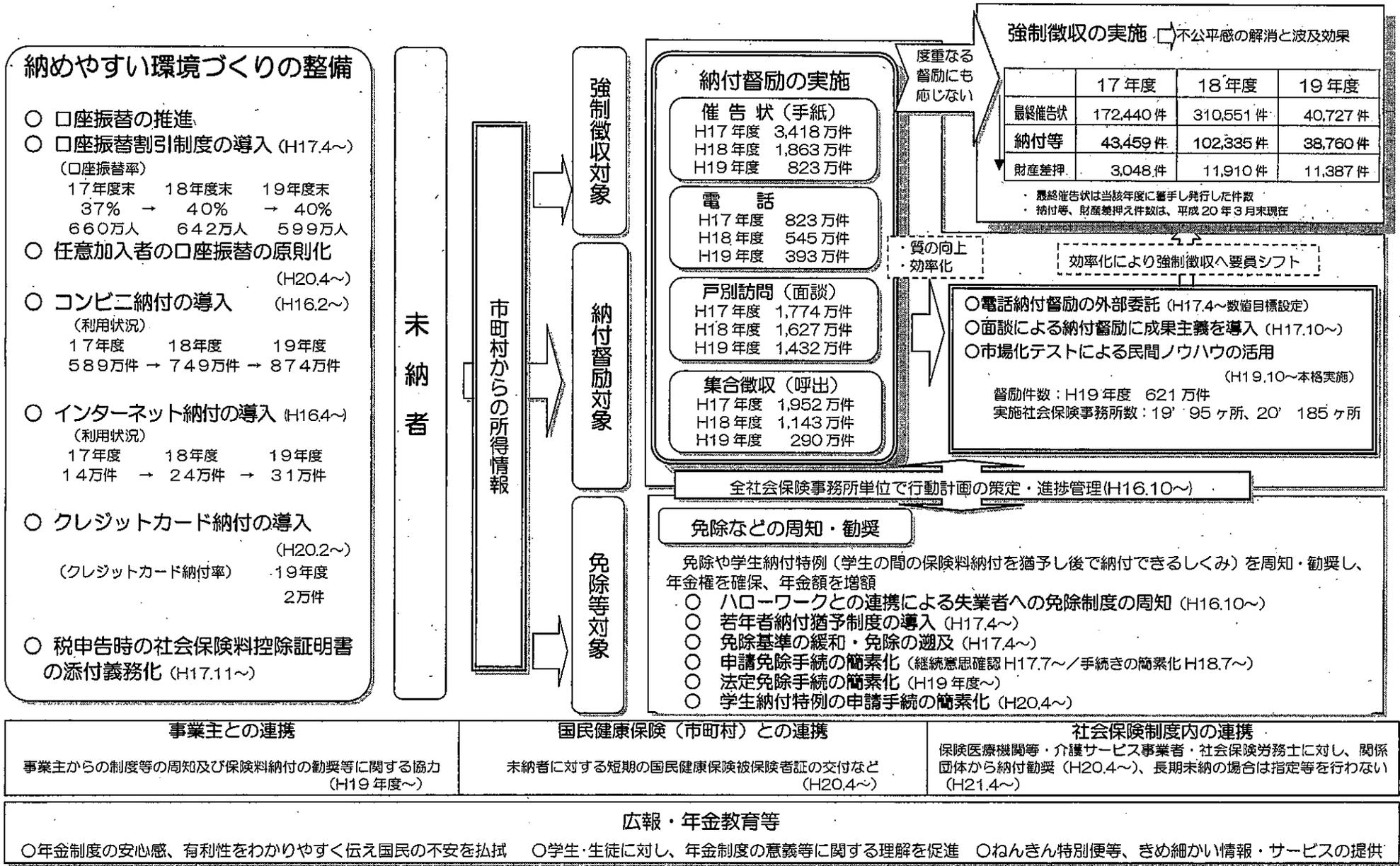


《 収納対策のスキーム(概念図) 》



## 《都道府県別にみた社会保険事業の給付の規模》

(平成18年度)

都道府県名	金 額			(参考) 県民 (国民)所得	県民(国民)所得比		
	年 金	医 療	合 計		年 金	医 療	合 計
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	%	%
全 国	40,119,815	4,086,691	44,206,506	373,246,600	10.7	1.1	11.8
北海道	1,729,849	242,459	1,972,309	14,503,827	11.9	1.7	13.6
青森	377,096	52,774	429,869	3,137,129	12.0	1.7	13.7
岩手	423,064	50,845	473,908	3,272,320	12.9	1.6	14.5
宮城	658,193	81,833	740,026	6,183,288	10.6	1.3	12.0
秋田	368,219	47,209	415,427	2,628,481	14.0	1.8	15.8
山形	387,854	45,744	433,598	2,951,319	13.1	1.5	14.7
福島	623,398	76,516	699,914	5,704,193	10.9	1.3	12.3
茨城	826,687	67,097	893,783	8,444,978	9.8	0.8	10.6
栃木	570,357	56,974	627,332	6,253,206	9.1	0.9	10.0
群馬	622,212	62,776	684,988	5,787,709	10.8	1.1	11.8
埼玉	2,022,667	124,907	2,147,574	20,846,005	9.7	0.6	10.3
千葉	1,813,875	102,176	1,916,051	18,168,444	10.0	0.6	10.5
東京	3,678,994	296,345	3,975,339	60,086,619	6.1	0.5	6.6
神奈川	2,796,171	156,028	2,952,199	28,171,010	9.9	0.6	10.5
新潟	835,265	94,254	929,520	6,738,830	12.4	1.4	13.8
富山	432,155	48,206	480,361	3,442,874	12.6	1.4	14.0
石川	394,808	52,656	447,464	3,347,781	11.8	1.6	13.4
福井	287,307	35,286	322,593	2,356,912	12.2	1.5	13.7
山梨	250,777	26,838	277,615	2,414,262	10.4	1.1	11.5
長野	792,252	67,555	859,807	6,231,895	12.7	1.1	13.8
岐阜	697,068	78,316	775,384	5,887,188	11.8	1.3	13.2
静岡	1,317,232	108,260	1,425,492	12,680,516	10.4	0.9	11.2
愛知	2,245,254	237,490	2,482,745	25,563,139	8.8	0.9	9.7
三重	638,949	56,768	695,716	5,727,308	11.2	1.0	12.1
滋賀	434,184	41,828	476,012	4,520,033	9.6	0.9	10.5
京都	845,669	95,623	941,292	7,665,004	11.0	1.2	12.3
大阪	2,737,210	321,857	3,059,068	26,874,867	10.2	1.2	11.4
兵庫	1,924,215	168,856	2,093,072	15,267,318	12.6	1.1	13.7
奈良	460,479	42,594	503,073	3,772,391	12.2	1.1	13.3
和歌山	345,607	35,013	380,621	2,805,700	12.3	1.2	13.6
鳥取	205,818	26,937	232,756	1,400,814	14.7	1.9	16.6
島根	277,047	32,674	309,721	1,820,361	15.2	1.8	17.0
岡山	713,625	90,291	803,916	5,192,202	13.7	1.7	15.5
広島	1,036,502	122,376	1,158,878	8,738,537	11.9	1.4	13.3
山口	611,816	55,812	667,628	4,478,783	13.7	1.2	14.9
徳島	254,825	35,420	290,245	2,233,139	11.4	1.6	13.0
香川	370,021	46,501	416,522	2,648,448	14.0	1.8	15.7
愛媛	502,811	59,353	562,164	3,459,079	14.5	1.7	16.3
高知	263,543	31,781	295,324	1,708,965	15.4	1.9	17.3
福岡	1,562,041	224,029	1,786,070	13,437,419	11.6	1.7	13.3
佐賀	264,767	37,289	302,057	2,171,734	12.2	1.7	13.9
長崎	465,783	57,012	522,795	3,285,727	14.2	1.7	15.9
熊本	541,121	73,591	614,712	4,391,831	12.3	1.7	14.0
大分	378,877	52,898	431,775	3,154,149	12.0	1.7	13.7
宮崎	341,062	46,239	387,301	2,550,595	13.4	1.8	15.2
鹿児島	528,509	69,762	598,271	3,984,089	13.3	1.8	15.0
沖縄	247,770	49,642	297,412	2,751,806	9.0	1.8	10.8
その他	16,809	.	16,809	.	.	.	.

- 注1. 年金は厚生年金保険及び国民年金(福祉年金を含む)受給者の年金総額(平成18年度末現在)である。新法船員保険の職務上を除く。  
 2. 医療は政府管掌健康保険、法第3条第2項被保険者及び船員保険の保険給付費(平成18年度)であり、そのうち診療費及び薬剤支給については医療機関の所在地ベース、それ以外は社会保険事務所の所在地ベースである。  
 3. 県民(国民)所得については、全国は平成18年度の国民所得であり、各都道府県は平成17年度の県民所得である。

都道府県別にみた国民年金保険料の納付率（平成19年度）

都道府県	納付率	（参考）介護保険料の収納（平成18年度）	
		特別徴収の収納額 （百万円）	特別徴収の割合（%）
北海道	62.4%	44,622	84.0%
青森県	61.8%	14,780	86.2%
岩手県	73.8%	12,675	87.6%
宮城県	62.2%	17,655	86.3%
秋田県	76.0%	12,254	88.3%
山形県	74.9%	12,311	88.9%
福島県	67.2%	16,860	87.6%
茨城県	60.9%	20,422	85.1%
栃木県	62.3%	14,419	86.5%
群馬県	68.4%	17,273	86.9%
埼玉県	61.0%	43,333	81.9%
千葉県	61.2%	39,630	82.7%
東京都	59.2%	95,174	81.5%
神奈川県	62.0%	62,182	82.4%
新潟県	76.0%	24,791	88.1%
富山県	74.6%	12,738	88.3%
石川県	74.5%	11,730	86.9%
福井県	75.6%	8,255	88.8%
山梨県	73.0%	7,214	88.6%
長野県	74.0%	21,691	88.1%
岐阜県	73.1%	18,107	86.7%
静岡県	68.1%	30,583	86.9%
愛知県	66.4%	54,150	84.3%
三重県	71.0%	17,145	87.0%
滋賀県	70.8%	10,377	86.8%
京都府	64.8%	23,433	83.5%
大阪府	54.4%	72,321	81.0%
兵庫県	62.9%	48,959	84.3%
奈良県	67.3%	11,570	84.2%
和歌山県	71.5%	10,891	86.3%
鳥取県	72.9%	6,448	88.2%
島根県	77.6%	8,776	88.8%
岡山県	67.1%	20,027	87.4%
広島県	67.6%	27,539	85.9%
山口県	71.7%	15,578	87.1%
徳島県	66.6%	9,263	87.0%
香川県	72.7%	9,304	88.0%
愛媛県	73.1%	15,407	86.6%
高知県	68.3%	8,398	86.3%
福岡県	63.2%	44,531	83.7%
佐賀県	68.7%	8,984	88.1%
長崎県	59.7%	15,880	86.0%
熊本県	64.7%	18,793	87.3%
大分県	69.2%	11,659	85.4%
宮崎県	63.3%	10,262	85.2%
鹿児島県	63.9%	15,997	86.7%
沖縄県	42.8%	9,742	85.4%
全 国	63.9%	1,064,132	84.8%

注) 納付率(%) =  $\frac{\text{納付月数}}{\text{納付対象月数}} \times 100$

納付対象月数とは、第1号被保険者が当該年度分の保険料として納付すべき月数（全額免除月数・若年者納付猶予月数・学生納付特例月数を含まない。）であり、納付月数はそのうち当該年度中（翌年度4月末まで）に納付された月数である。

〈参考〉指定都市及び中核都市別にみた国民年金保険料の納付率(平成19年度)

—指定都市(17)—

都市	納付率	(参考) 介護保険料の収納(平成18年度)	
		特別徴収の収納額 (百万円)	特別徴収の割合(%)
札幌市	56.8%	13,277	82.3%
仙台市	58.5%	6,991	83.9%
さいたま市	62.1%	7,704	81.6%
千葉市	59.7%	5,988	81.5%
横浜市	63.8%	26,053	82.6%
川崎市	56.2%	8,233	81.2%
新潟市	71.6%	7,419	86.2%
静岡市	66.4%	5,914	86.9%
浜松市	69.7%	6,497	87.5%
名古屋	61.5%	18,907	82.9%
京都市	62.5%	13,475	82.6%
大阪市	47.4%	21,628	79.6%
堺市	57.5%	7,541	80.6%
神戸市	59.3%	14,236	83.7%
広島市	63.8%	9,611	83.1%
北九州市	63.1%	10,068	82.4%
福岡市	61.1%	9,290	81.5%

—中核市(39)—

都市	納付率	(参考) 介護保険料の収納(平成18年度)	
		特別徴収の収納額 (百万円)	特別徴収の割合(%)
旭川市	54.0%	3,153	83.6%
函館市	54.2%	2,544	82.9%
青森市	62.4%	2,566	84.0%
盛岡市	70.9%	2,144	85.3%
秋田市	69.2%	2,823	85.9%
郡山市	61.0%	2,150	86.3%
いわき市	61.7%	3,364	85.8%
宇都宮市	60.3%	3,264	84.7%
川越市	61.7%	2,018	82.1%
船橋市	65.1%	3,683	81.7%
柏市	63.7%	2,438	82.0%
横須賀市	60.2%	3,769	83.8%
相模原市	59.8%	4,394	81.4%
富山	71.3%	4,751	87.3%
金沢	70.2%	4,123	85.7%
長野市	72.3%	3,414	86.8%
岐阜市	67.4%	3,464	84.4%
豊橋市	68.2%	2,584	85.2%
岡崎市	66.3%	2,428	84.3%
豊田	69.3%	2,418	84.5%
高槻市	64.9%	2,730	83.0%
東大阪市	54.4%	4,298	80.3%
姫路市	60.0%	4,683	83.2%
西宮市	62.5%	3,236	82.7%
奈良	67.5%	2,824	83.8%
和歌山市	65.4%	3,832	83.8%
岡山市	63.6%	6,421	85.9%
倉敷市	62.0%	4,468	86.2%
福山市	65.0%	4,344	85.5%
下関市	65.6%	3,141	86.1%
高松市	70.0%	3,451	86.5%
松山市	67.5%	4,921	84.2%
高知市	63.1%	2,897	84.0%
久留米市	64.1%	2,805	85.3%
長崎市	56.7%	4,839	84.6%
熊本市	57.3%	5,637	85.3%
大分市	66.9%	3,425	82.8%
宮崎	57.0%	2,780	81.6%
鹿児島	58.4%	4,407	84.8%

(注) 指定都市及び中核市はH20.4.1現在のため、18年度時点においては指定都市若しくは中核市に該当していない場合がある。

## 日本年金機構の設立について

# 社会保険庁の廃止と、非公務員型の2つの新法人の設立

【国が担う業務】 ※公的年金の財政責任・運営責任は **厚生労働本省**  
※保険医療機関の指導監督等は **地方厚生局**  
※悪質な滞納者の強制徴収は **国税庁** へ委任可能

## 【新組織】

【現在】



新

**日本年金機構**

公的年金の運営業務を担います。

(適用・徴収・記録管理・相談・裁定・給付等)

※ **民間企業等** への委託を推進



新

**全国健康保険協会**

健康保険事業を担います。

(中小企業で働く被用者の方)

これにより……

### 1. 「職員」が変わる

新しい2つの法人の職員は、公務員ではなく民間です。  
能力と実績に基づく人事管理で職員の意識改革を徹底します。

### 2. 「サービス」が変わる

親切でわかりやすいお知らせ、電話相談やインターネットでの情報提供など、サービスの向上を徹底します。

### 3. 「仕事の仕方」が変わる

旧式のコンピューターシステムの刷新、各種のチェックの仕組み、事務処理の集約化、外部委託化など、業務の適正かつ効率的な実施を徹底します。

# 日本年金機構の位置づけ

○公的年金については、国が財政責任・管理運営責任を負いつつ、一連の業務運営を日本年金機構（非公務員型の公法人）に委任・委託

